

日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会

第40回審議会議事録

1. 召集通知の日 令和6年3月19日(火)
2. 開催の日 令和6年3月26日(火)
3. 開催場所 万願寺第二・東町まちづくり事務所
4. 審議会委員の数 8名
内訳 ・所有権者 5名
・借地権者 1名
・学識経験者 2名
5. 出席者数 20名
内訳 ・審議会委員 出席6名
藤和通信工業(株)佐藤外次
田中基行
金子勉
落合正久
川島大介
原田龍次

・審議会委員 欠席2名
小泉一夫
深井祐紘

・日野市 8名
まちづくり部長 岡田 正和
区画整理課長 井上 泰芳
区画整理課長補佐 大野 高宏
区画整理課長補佐 山本 修平
補償係長 天野 克己
換地係長 岡澤 健一郎
換地係主任 矢光 亜紀子
換地係主事 野上 峻輔

・都市づくり公社 6名
日野区画整理事務所長 若月 純子
換地・補償担当課長 木原 博史
移転工事課長 宮川 雄一
換地係長 川嶋 輝之
換地担当係長 安瀬 英孝
換地係主事 笹生 朋宏

6. 会議の目的たる事項

- ・その他 事業期間の延伸について
区画整理だよりについて
令和5年度及び6年度予算について
令和5年度及び6年度工事について

7. 傍聴人 0名

<午後2時00分>

会長 : 挨拶。まちづくり部長に、挨拶を促した。

岡田 : 挨拶をした。

会長 : 日野区画整理事務所長に、挨拶を促した。

若月 : 挨拶をした。

会長 : 事務局に報告事項の説明を促した。

岡澤 : 所有権選出審議会委員の総合サーキット株式会社が、万願寺第二土地区画整理地区内所有地を令和4年12月9日売買により所有権移転したため、土地区画整理法第58条第5項の規定により委員の地位を喪失したことを報告した。

[審議会開会]

<午後2時05分>

会長 : 第40回日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会の開会を宣言した。
本日の議事の進め方については、次第に基づき進める旨を説明した。
本日の欠席委員は小泉委員、深井委員の2名であると報告し、6名の審議会委員が出席しているので、土地区画整理法第62条第3項の規定に基づき、審議会は成立したことを告げた。
また、議事録署名委員に金子委員、原田委員を、議事録の書記に事務局の矢光主任と野上主事を指名した。

会長 : 本日の審議会の主旨説明を事務局に指示した。

山本 : 配布資料の確認と本日のその他で事業期間の延伸について、区画整理だよりについて、令和5年度及び6年度予算について、令和5年度及び6年度工事につ

いて説明することを伝えた。

会長 : 事業期間の延伸についての説明を事務局に指示した。

山本 : 事業期間の延伸について説明した。

事業進捗状況を踏まえて事業期間を令和6年3月31日から令和15年3月31日に9年間延伸し、令和6年3月19日に第5回変更として公告したことを報告した。併せて、資金計画について変更はなく、総事業費25,576,000千円で今後も事業を進めていくことを説明した。

現在、事業完了に向けた事業展開について検討を進めていて、昨今の建設資材費及び人件費の高騰等で事業費は増加傾向が見られるため、物価上昇がどのくらいになるのかについても検討し、その結果に応じて総事業費及び事業工程について変更が必要となった場合は事業計画の変更することを説明した。

会長 : 今の説明について、質問があるか尋ねた。

■ : 事業期間の延伸に伴い縦覧は行うのか。

山本 : 今回の変更は事業期間の延伸と総事業費の変更が伴わない年次割の変更のみとなるため、土地区画整理法施行令に定める軽微な変更該当し、縦覧が不要となっている。変更内容については公告し、その後は恒久縦覧となり誰でも縦覧できると説明した。

■ : 進捗率はどのくらいか。

山本 : 資料・特別会計予算の概要に記載している令和5年度末で61.4%、令和6年度末で62.4%となり、ここ数年は平均1%の事業執行率となっていると説明した。

会長 : 区画整理だよりについての説明を事務局に指示した。

山本 : 区画整理だよりについて説明した。

おもて面は区画整理事業の大きな進め方を記載し、昨年度の区画整理だよりから引き続き、財政状況とのバランスを取りながら事業量を絞って実施していくこと、財政再建期間の令和9年度までは財政への影響を最低限に抑えながら優先して整備する事業を重点整備事業として進めていくことを再度掲載し、併せて整備前に説明会を実施して権利者の理解を得ながら進めていくことを掲載している。また、財政再建期間が終わる10年度以降の事業完了に向けた整備手順について、令和8年度にお知らせする予定であること。令和5年度整備したモノレール通り付近、甲州街道と区画道路交差点部分の写真を載せている。裏面は令和6年度の事業予定箇所を掲載している。ヘルシーフード北側道路の未

整備箇所の幅員が狭く車両交通及び歩行者の安全が厳しいので、危険箇所解消のため7・5・4号線を優先的に整備する重点整備箇所と位置づけ、甲州街道までの開通を目指し、今年度は南側半分に掛かる建物移転を進めていく予定であると説明した。

会長 : 今の説明について、質問があるか尋ねた。

■ : 7・5・4号線の整備について、図面の黒丸部分に新しい家があるが、立ち退きをする意向はあるのか。

山本 : 新しい家は黒丸の東側にあり移転対象ではないと思われる。7・5・4号線上にいる方にはこれから移転の協力をしてもらおう予定になっている。基本的には事業に理解されているので、協力してもらえると考えている。

会長 : 令和5年度及び6年度予算についての説明を事務局に指示した。

山本 : 令和5年度及び6年度予算について説明した。
区画整理事業予算総額2,449,975千円で組合施行の予算も含まれている。前年比360,000千円余り、17%増となっている。増加の要因として、移転棟数及び道路築造数の増加となっている。万願寺第二地区については259,600千円、前年比63,379千円、32%増となっている。令和5年度は道路整備がメインだったが、令和6年度は建物移転を6棟予定している。令和6年度の予算を執行することにより6年度末で62.4%の進捗率となる。

会長 : 今の説明について、質問があるか尋ねた。

会長 : 令和5年度及び6年度工事についての説明を事務局に指示した。

大野 : 令和5年度及び6年度工事について説明した。
令和5年度工事2箇所について説明した。1箇所目はヘルシーフードの前の通り幅員8m延長約18m道路整備をした。東側から順次整備している関係で、置きガードレールで規制して一般開放していない。2箇所目は、東京マツダ販売店の東側で以前マンションがあり人しか通ることができない狭い道路だったところを幅員6m延長16m道路整備をし、警察協議が完了し開放している。令和6年度の事業は、事業の工程上道路築造は無いが、7・5・4号線を甲州街道まで開通するために、令和6年度は建物移転を進めて、令和7年度以降工事を進めると説明した。

会長 : 今の説明について、質問があるか尋ねた。

- : 万願寺第二区画整理事業とは関係ないが、日野橋の架け替え工事は上流に少し仮橋を造っているが、スケジュールはどうなっているのか。
- 大野 : 工事は東京都南多摩西部建設事務所で行っている。概略となるが、仮橋を上流側に架け、前後の取り付けを近々行くと聞いている。旧橋は橋脚が多いので撤去に時間が掛かると聞いている。2、3年で架け替えが終わる工事ではないと思われる。
- 岡田 : 立川側は仮橋への取付道路を上流側に振らなければならない。
- : 新しくできたケーキ屋に来ている車が一方通行である7・5・3号線を逆走している。事故が起こらないように、配慮をしてもらいたい。
- 大野 : 幅員を広く整備しているが、置きガードレールをして幅員を絞っている。現場を確認し、矢印等で工事看板を見直して抑制できるように考えたい。警察には情報提供する。
- : 3・4・12号線予定地の中に大きな森があるが、アナグマやタヌキ、キツネが生息していて、近くの農地の作物が被害に遭っていると聞いている。将来どのような形で撤去されるのか。
- 大野 : まだ整備の予定がないので、害獣ということであれば環境保全課と情報を共有して対応するしかないと思われる。
- 岡田 : 市が借上げをしている土地ではないので、所有者にしっかり管理するよう促すしかない。
- : 1年間延伸ですよ
- 岡田 : 令和9年度までは整備の予定はない。 *
- 山本 : 令和10年度以降の計画の中でどんな手順で進めていくかということになるが、逆を言うと令和9年まではやらないということになる。
- : 大木について、市に何回も言っているが、近所の人も落ち葉の掃除が大変と言っている。枝を切ることは法律に触れると言われている。
強制撤去はどうしたらできるのか検討してほしい。
- 大野 : 市も定期的に所有者に切ってもらうように要望しているが、対応してもらえないのが事実となる。それ以上はできないと考えている。

■ : 法律で強制撤去できるのかまでやらないといけないと思う。

■ : 同じ敷地内にある松が枯れて倒れている。

大野 : その件も把握していて、所有者に対応してもらうように言っている。

会長 : 質問がない事を確認し、審議会の閉会を宣言した。

[審議会閉会]

<午後2時35分>

この議事録は、書記が記載したものであるが、その内容が正確である事を認めここに署名押印します。

令和 6 年 5 月 / 日

会 長 田 中 基 行

署名委員 金子 勉

署名委員 原田 龍次

